

前回協議会でいただいた主なご意見と対応状況等

2) 認証事業所職員を対象としたアンケート結果について

認証事業所に対するアンケート結果について

- 実施概要：今後の福祉・介護人材確保に向けた施策を検討するため、認証事業所に勤務する入職後1年目から3年目の職員のみなさまに、福祉・介護職に入職したきっかけ、福祉・介護職を志した時期、就職活動の際に使用したツール等を明らかにすることを目的としてアンケート調査を実施
- 実施方法：認証事業所(法人単位)に対し、メールにてアンケート調査を依頼し、対象者より電子申請サービス(e古都なら)により回答を得た
- 実施期間：令和6年7月25日～8月12日
- 実施対象：認証事業所に勤務する入職後1年目から3年目の職員(113人から回答)

単純集計項目	1. 性別			
回答	男性	女性	その他	回答しない
回答数	34	78	0	1

単純集計項目	2. 年齢						
回答	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
回答数	6	39	23	21	16	7	1

単純集計項目	3. サービス種別		
回答	高齢福祉サービス	障害福祉サービス	児童福祉サービス
回答数	89	13	11

単純集計項目	4. あなたが勤務している事業所の法人格(経営主体)							
回答	社会福祉法人	医療法人・社会医療法人	株式会社	有限会社	NPO法人	一般財団法人	その他	わからない
回答数	85	18	4	0	3	0	2	1

単純集計項目	5. あなたが勤務している事業所の従業員数						
回答	5人以下	10人以下	20人以下	50人以下	99人以下	100人以上	わからない
回答数	3	3	8	20	16	37	26

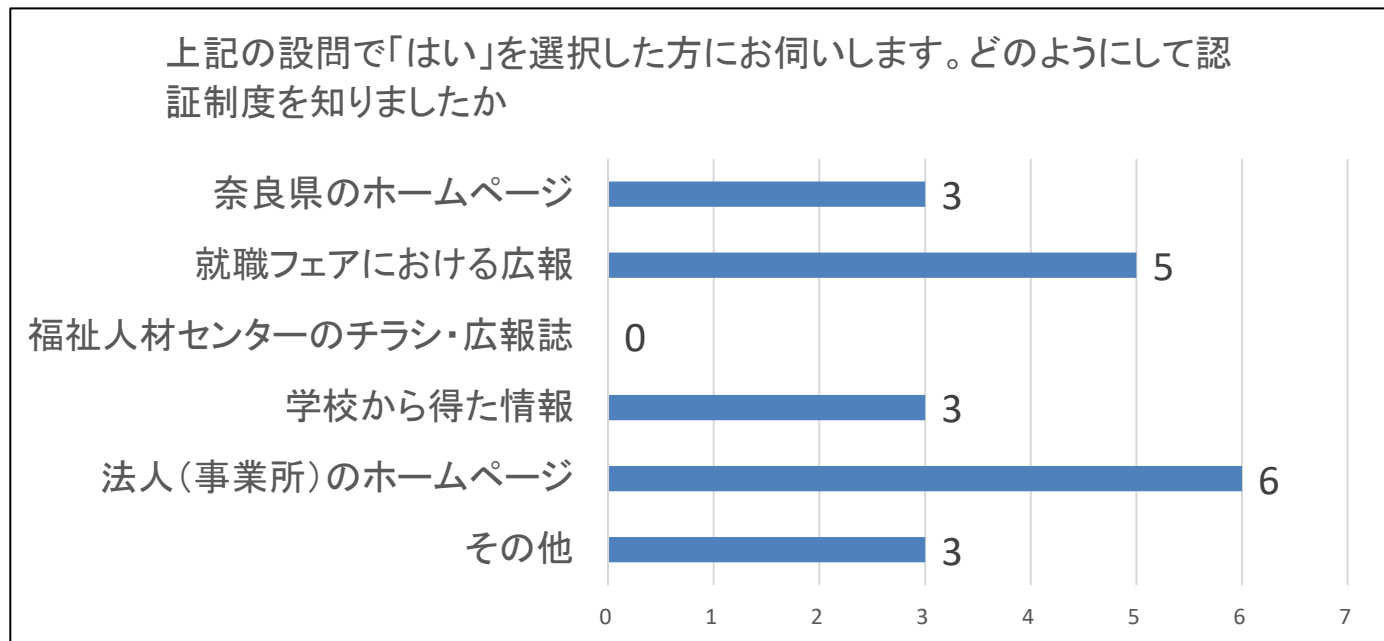
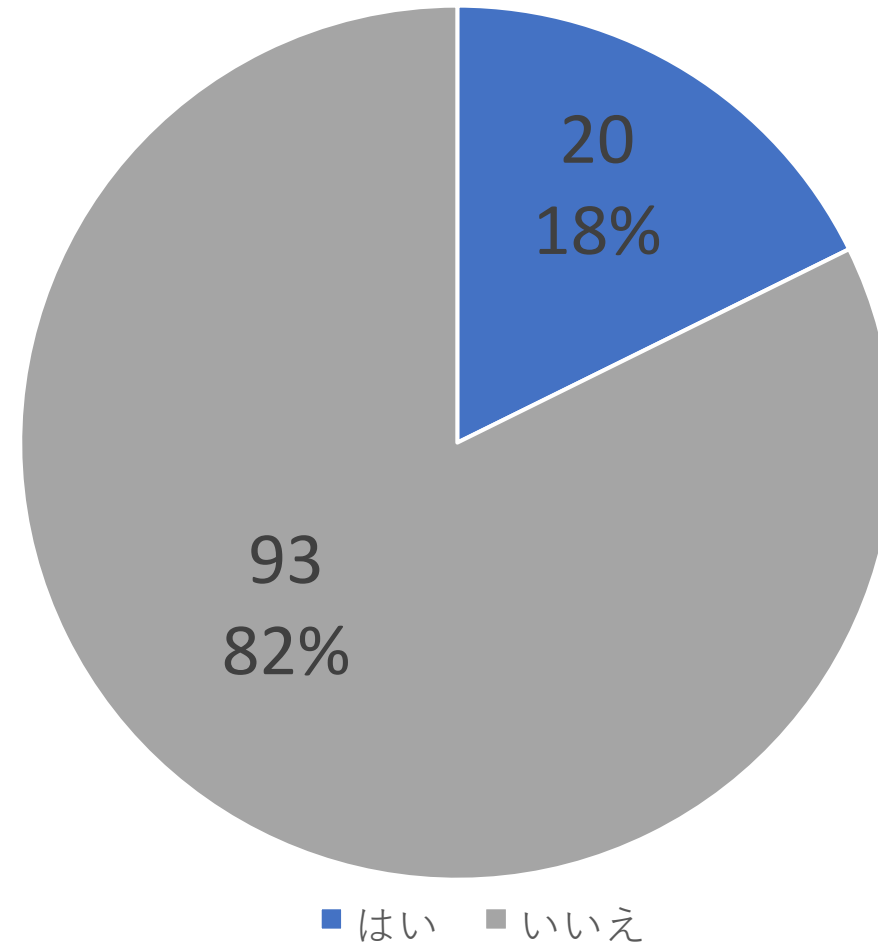
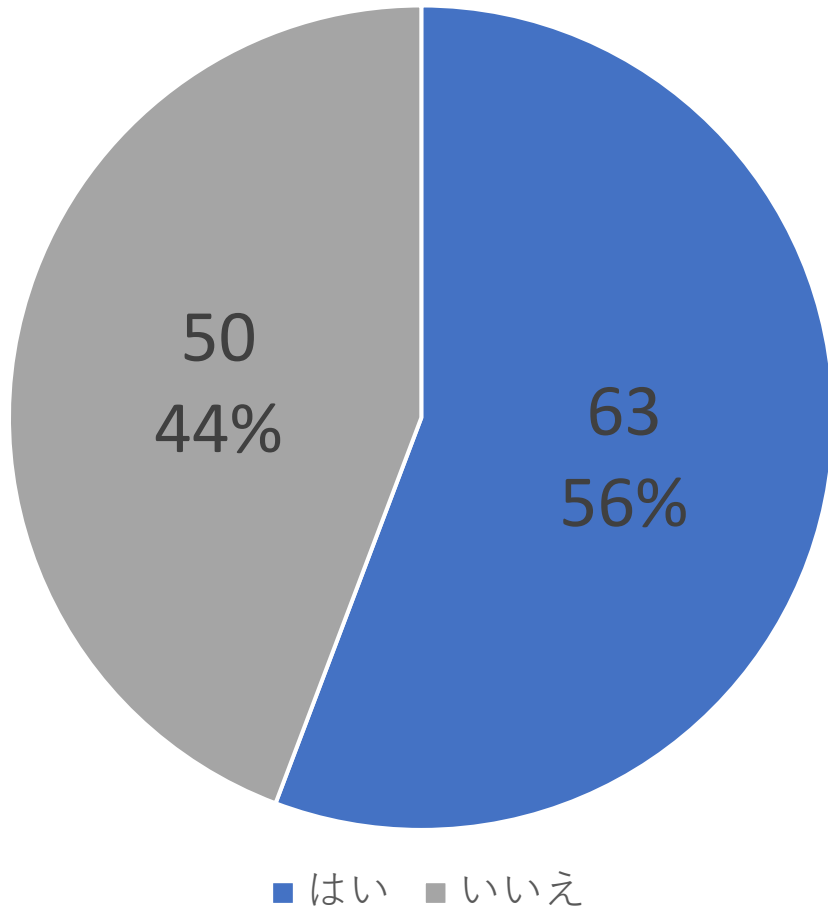
単純集計項目	6. 新卒採用か中途採用か選択してください	
回答	新卒採用	中途採用
回答数	36	77

単純集計項目	7. 現在の事業所での勤務年数		
回答	1年未満	1年以上～2年未満	2年以上～3年未満
回答数	46	40	27

認証事業所に対するアンケート結果について

現在の事業所は「奈良県福祉・介護事業所認証制度」の認証を取得していることを知っていますか

就職する際に「奈良県福祉・介護事業所認証制度」を知っていましたか



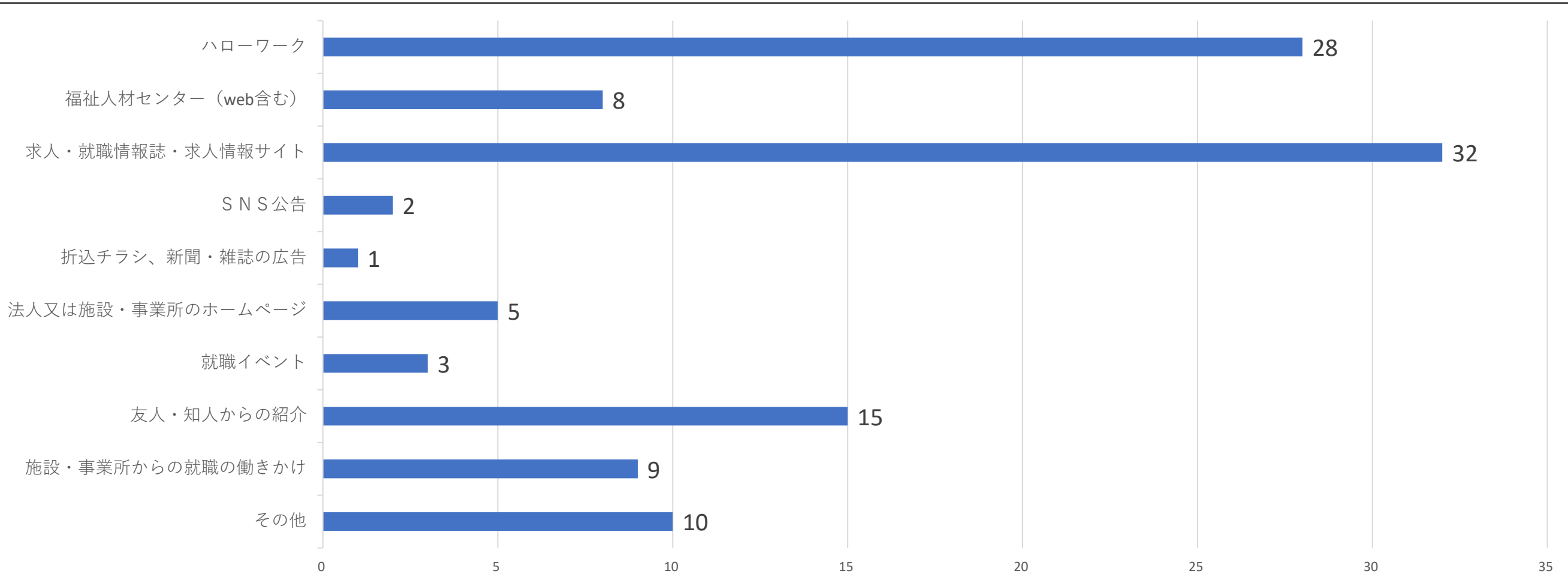
認証事業所に対するアンケート結果について

現在の法人(事業所)に就職することにつながった窓口・機関を1つ選択してください。

1位 : 求人・就職情報誌・求人情報サイト

2位 : ハローワーク

3位 : 友人・知人からの紹介



- ・現在の法人(事業所)に就職することにつながった窓口・機関として、求人・就職情報誌・求人情報サイト、ハローワークとの回答が多数あった。
- ・その他の意見として、福祉学校内での外部実習、学校での就職説明会、以前働いていた、ボランティア体験、電車から見えた等の回答があった。
- ・令和5年度 介護労働実態調査では、「友人・知人からの紹介」が約35%と上位を占めていたが、今回のアンケート調査では、全体の13%と乖離があるが、両者ともに上位の回答結果であることから、就職につながる有効な窓口であるといえる。

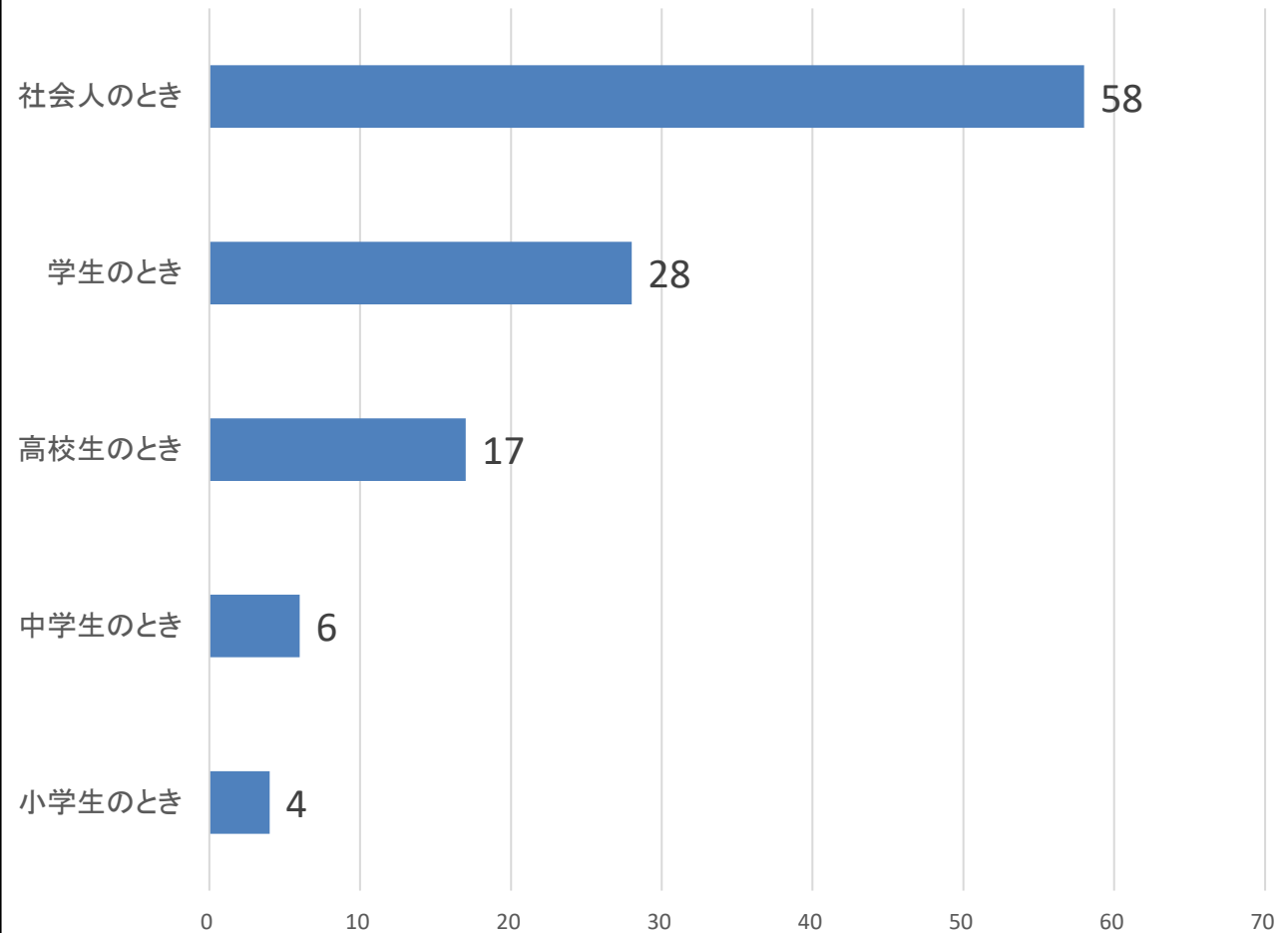
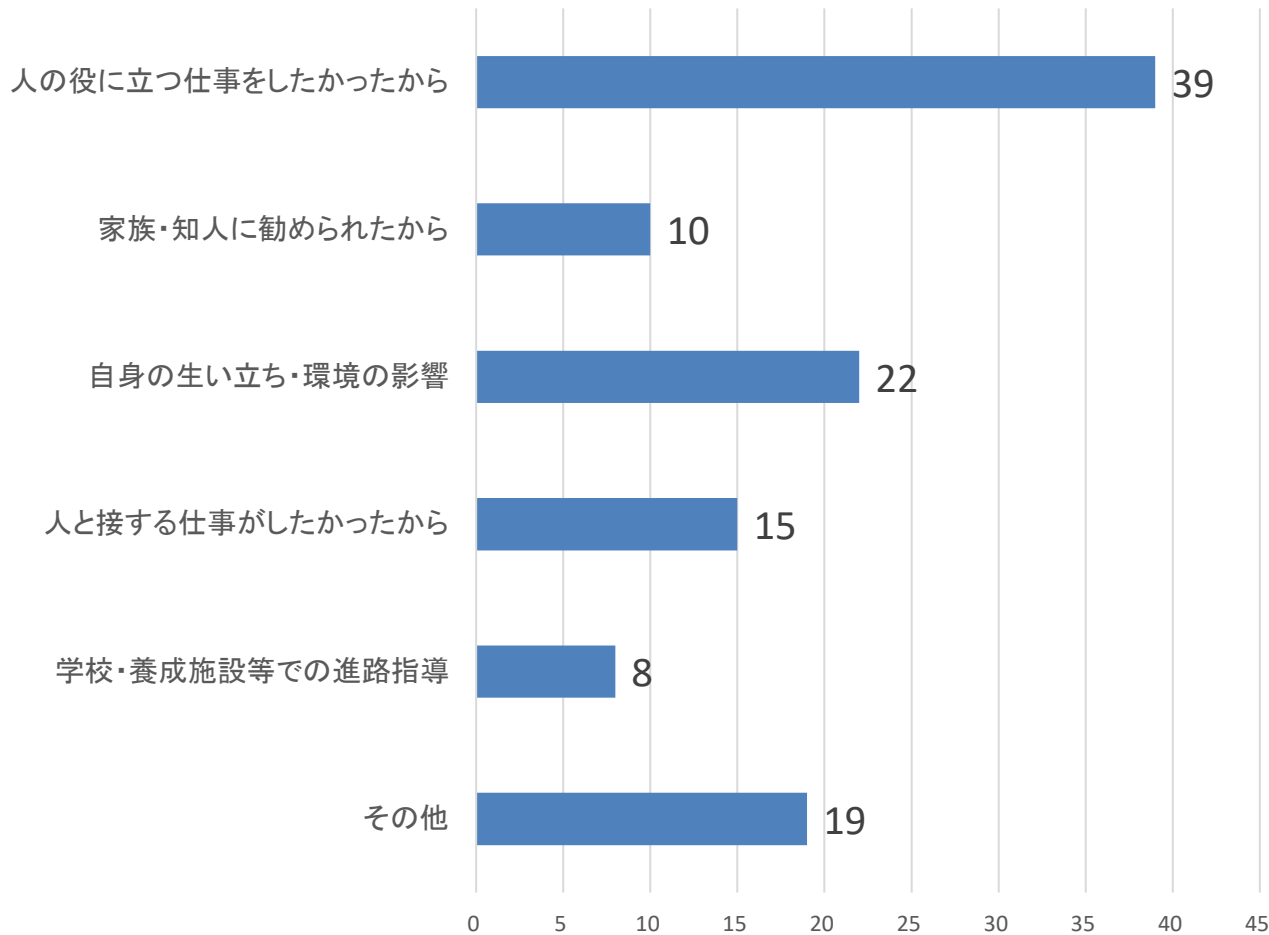
認証事業所に対するアンケート結果について

介護・福祉分野に就職しようと思ったきっかけ

- 1位：人の役に立つ仕事をしたかったから
- 2位：自身の生き立ち・環境の影響
- 3位：その他

介護・福祉分野に就職しようと思った時期

- 1位：社会人のとき
- 2位：学生するとき
- 3位：高校生のとき



・介護・福祉分野に就職しようと思ったきっかけのその他の意見として、「資格が取れる」、「自分のスキル向上の為」、「大学時代の専門分野を仕事にしようと思ったため」、「病院で勤務していたが、違う分野を経験したかったから」、「営業ノルマを達成しなければいけないのが嫌だったから」、「資格を持っていたから」等の意見があった

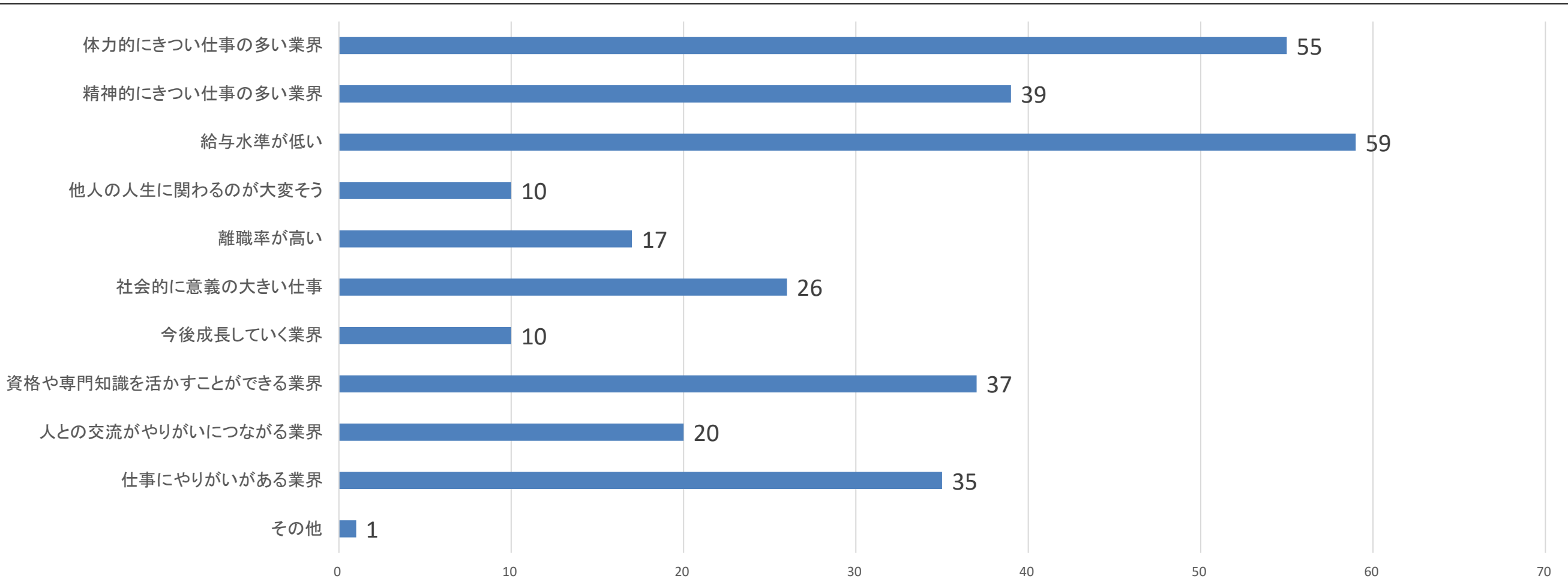
認証事業所に対するアンケート結果について

入職前に福祉・介護職についてどのようなイメージを持っていましたか。あてはまるもの3つまで選択

1位：給与水準が低い

2位：体力的にきつい

3位：精神的にきつい



・今回の調査では、これまでの給与水準が低い、体力的にきつい、精神的にきついというイメージが未だに根強くもたれている一方で、社会的意義の大きい仕事、資格や専門的知識を活かすことのできる業界、仕事にやりがいのある業界であるという認識を持っていることが分かる

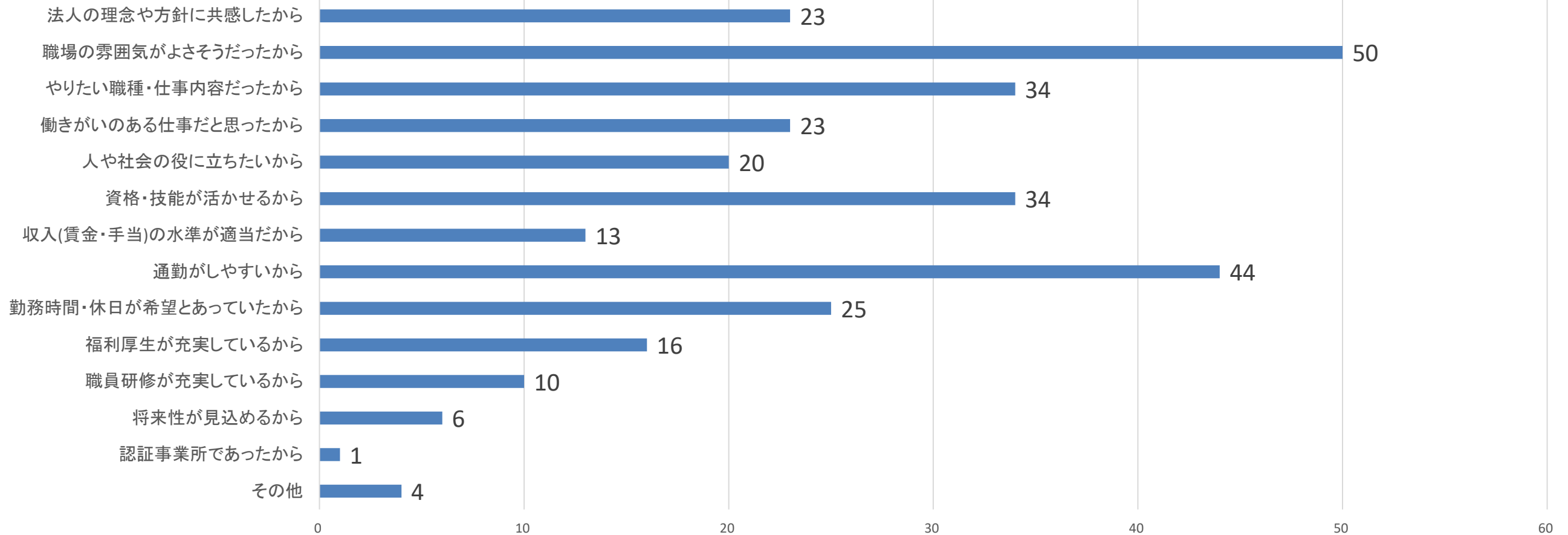
認証事業所に対するアンケート結果について

現在の事業所に就職する際に重視した条件を3つまで選択。

1位：職場の雰囲気がよさそうだったから

2位：通勤がしやすいから

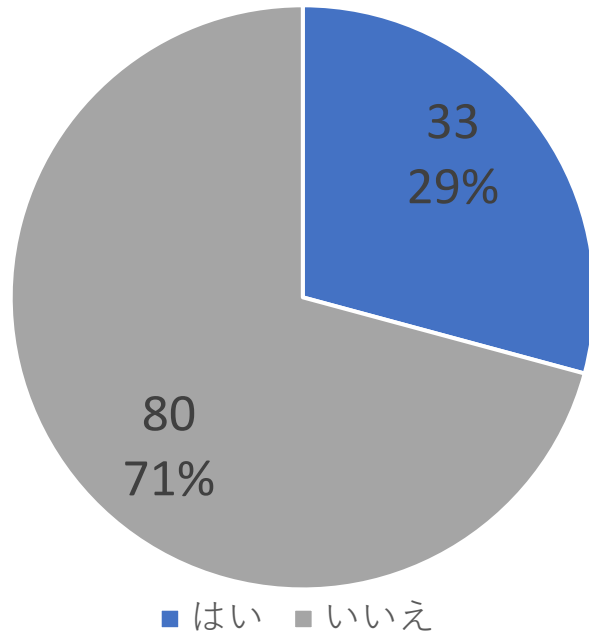
3位：やりたい職種・仕事内容だったから、資格・技能が活かせるから



・令和5年度の介護実態調査の結果と同様に、「通勤がしやすいから」、「職場の雰囲気がよさそうだったから」、「やりたい職種・仕事内容だったから」、「勤務時間・休日が希望とあっていたから」との回答が多く占めている。

認証事業所に対するアンケート結果について

福祉・介護の仕事のイメージについて就職前と就職後で
ギャップはありましたか



どのようなギャップを感じているか記載してください(ポジティブなギャップ)

- ・しんどいイメージが強かったけれど、実際働いてみて楽しくてやりがいがある
- ・怖いイメージがあったが、利用者から「ありがとう」と感謝の言葉を頂けることで安心。やって良かったと思った。
- ・事業所の雰囲気か思っていたよりも朗らかで暖かいイメージだった
- ・体力的・精神的にとっても大変な仕事だと思っていたが、思っていたよりも穏やかな職場だった
- ・事業所全体の雰囲気が思っていたより良い。そのため利用者さんものんびりと過ごすことが出来ている。休日や研修などもしっかりしており、研修期間が終わったから放り出されることや休日出勤などもなく安心して働くことが出来ている。
- ・とても大変そうと思っていたが、職場の雰囲気はよく、やりがいを感じられているところにギャップを感じている。
- ・思っていたほど体力的にきつい仕事ではなかった。
- ・夜勤明けや宿直明けが公休に含まれないので休みが多く感じお得だと感じた。
- ・前職との仕事内容の違いにギャップを感じました。仕事の内容がかなり減り、個人的な負担はかなり軽減されてプライベート面は充実しています。

どのようなギャップを感じているか記載してください(ネガティブなギャップ)

- ・相談業務に従事していたときですが、仕事内容について周りの他職種からの理解が薄く、やりがいを感じられなかった。本来の業務外のことまでせざるを得なかった。
- ・仕事内容が多岐にわたること。日勤がないこと。
- ・当たり前暴力暴言を吐く高齢者がいる。
- ・給与の低さ
- ・思っていた以上に体力のいる仕事だった
- ・思っていた以上に忙しい
- ・週休2日ではなかった
- ・業務に追われて利用者中心の関わりができないことが多い
- ・就職前は明るくて綺麗な職場を想像していたが、務めてみたら思ったよりも汚い場所で、衛生的にどうかと思うことが多々あった。
- ・環境、給与ともに辛い場面がある。
- ・人手、時間が足りず焦る。

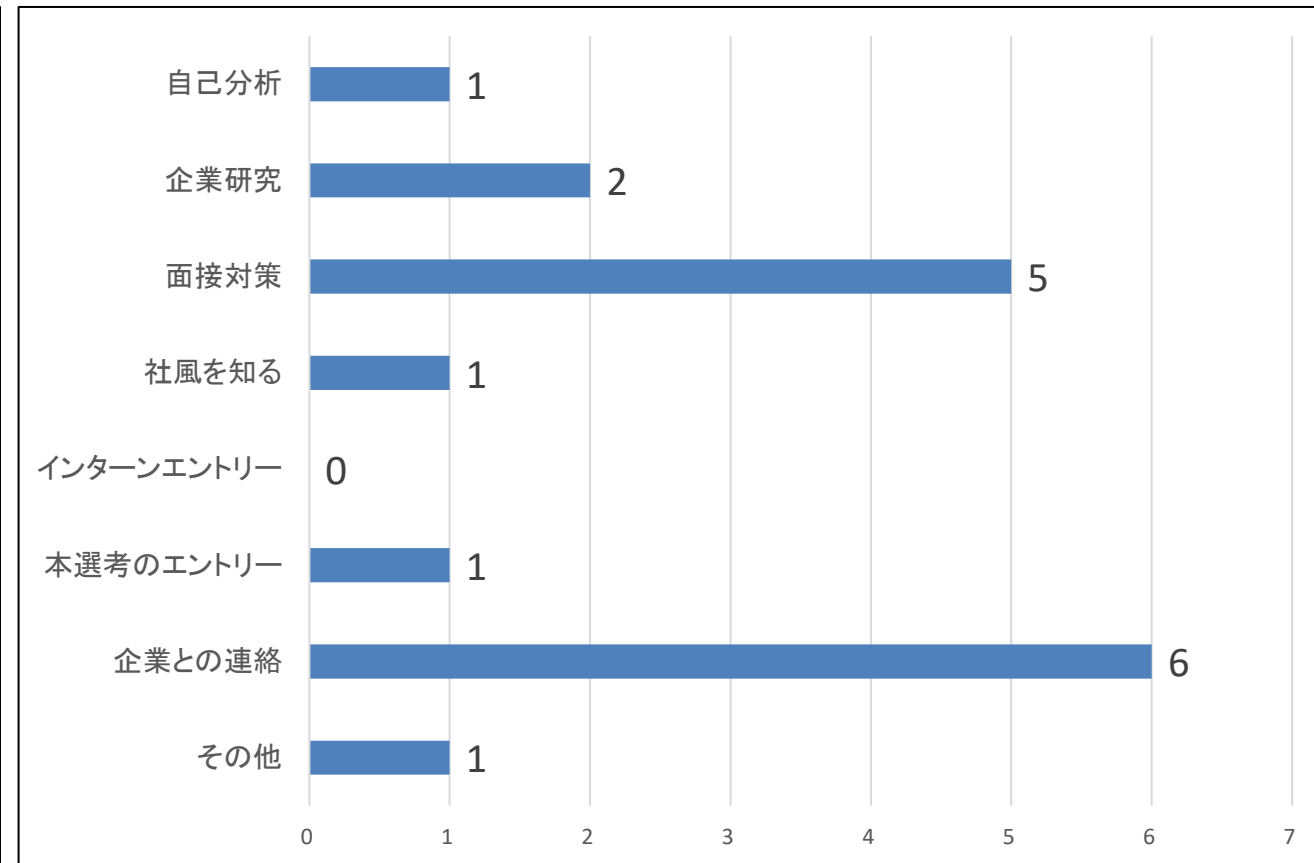
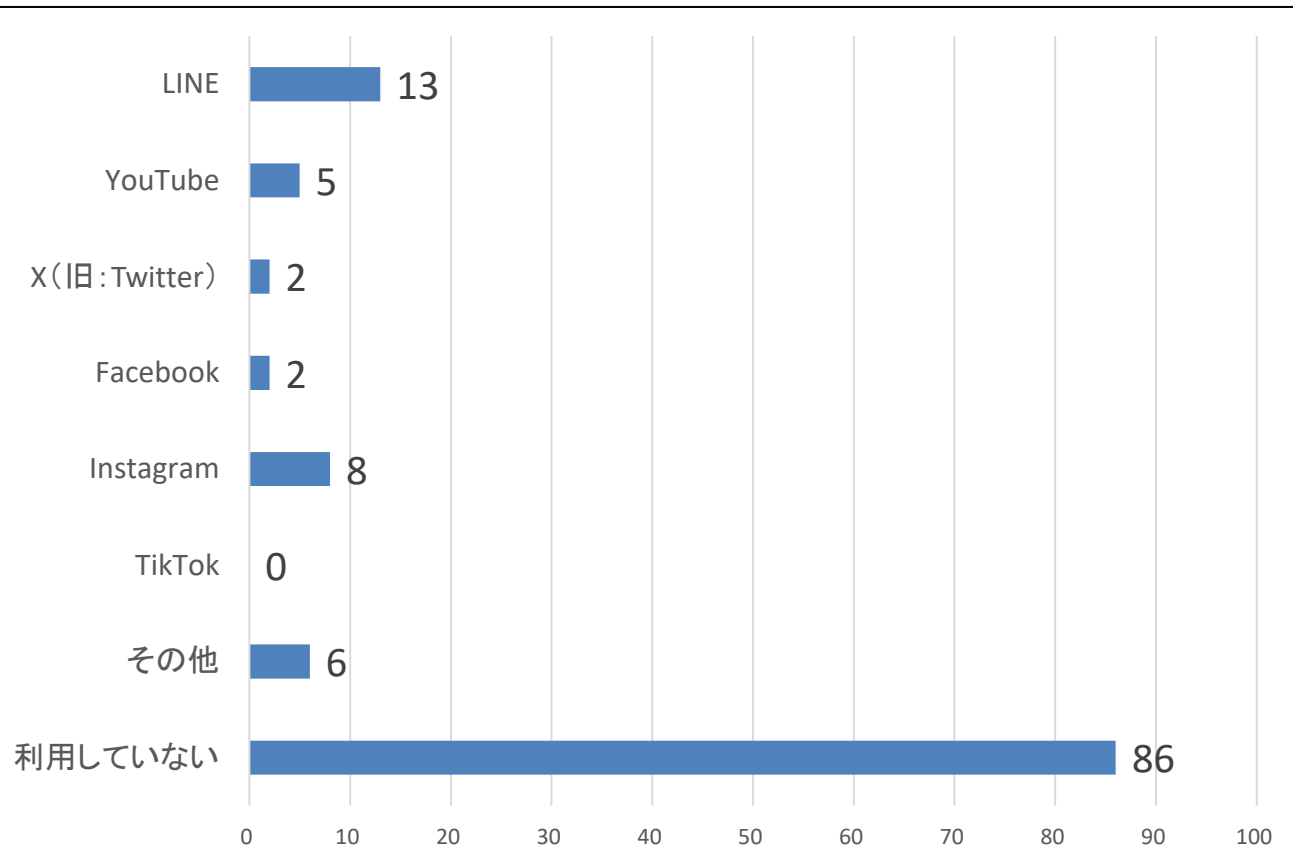
認証事業所に対するアンケート結果について

就職(転職)活動において利用したSNSをすべて選択してください

- 1位 : 利用していない
- 2位 : LINE
- 3位 : Instagram

就職(転職)活動においてLINEをどのようなことに活用しましたか
あてはまるものすべて選択してください

- 1位 : 企業との連絡
- 2位 : 面接対策
- 3位 : 企業研究



- ・就職(転職)活動において、どのようなSNSツールを使用しているのか確認したところ、「利用していない」との回答が約75%を占めた。
- ・回答数は少ないが、LINEが就職活動に最も使用されており、主に面接対策、企業との連絡用、面接対策に使用しているとの回答が多くあった。
- ・YouTubeは企業研究、面接対策に、Xは自己分析、企業研究、面接対策に、Instagramは自己分析、企業研究、面接対策、社風を知るに使用しているとの回答があった。